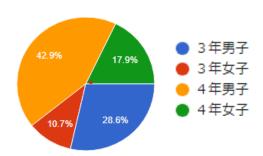
令和6年度ジュニアチャレンジスクール参加者アンケート集計

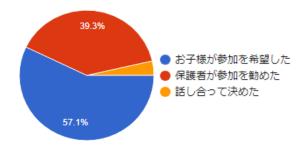
- 1 お子さまの学年と性別
- 2 ジュニアチャレンジスクールをどのように知りましたか

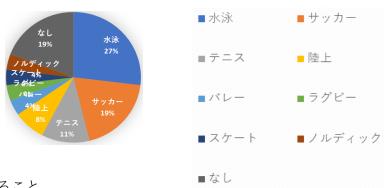




3 参加のきっかけ

4 すでに取り組んでいるスポーツ等





5 1番楽しかったことや思い出に残っていること

がの団体戦
ブにふれられたこと
トル射撃が出来た事
・ルで250点がとれたこと
骨れるようになって嬉しかったです
rートに初めて挑戦したこと
支ということもあり、成長を本人が実感できて、毎回楽しみにしていまし
見知りの友達がいない中での子供の行動の様子や気持ちを知る事ができた。
ポーツを体験できたこと。
するスポーツも楽しそうに取り組んでいたこと
を体験して、準備体操などの体の動かし方がスポ少とほぼ同じだったので、
ることは正しいことだと思えました。
参加して思い通りにいかない事も沢山ある中でそれでも最後は楽しかったと
幾会がないとできない種目を体験できたこと
きないような競技を体験することができたこと

6 ジュニアチャレンジスクールの活動を通してお子さまに見られた変化

スケート競技への興味

スケートは人生初だったので最初は無理だと話していましたが今ではとてものめり込んでいます。やったことのないことにチャレンジすることへのハードルは低くなったと感じます。学校からの色んなパンフレットを見て、これやってみたいと言ってくる回数が増えたので、挑戦する気持ちが強くなったと感じます。

子供が果敢にフェンシングで攻めている姿を見て、親としては意外な一面を見ることができた

新しいことにチャレンジできた

他のスポーツに関心をもつようになった

やった事のない事でも楽しむようになった

はじめはビームライフル希望でしたがフェンシングにも興味をもてたようでした。

団体戦の同じチームの子たちへの応援や「ドンマイ」のような声をかけていたこと

変化というより発見ですが、出来ないままでいるのは嫌だから少しでも上手くなれるように頑張りたいと言って取り組んでいた。

体を動かす楽しさを知った

自分だけのことを考えるのではなく、仲間のことを考えられるようになってきた。

スケートが大好きになりました。

上手になりたい気持ちが見られた

チャレンジする気持ち

フェンシングに対して関心が続いている

普段は人見知りをするのですが、自分から他のお子さんに声をかけることができたこと。

スポーツの楽しさを感じられたと思う

初めての知らない人達の集団の中に入っていけたこと

フェンシングに興味をもった様子

ビームピストルを選びましたが、「楽しい」から「やりたい」へ変わりました

子供が集中して自ら取り組めていた事

3つの競技を体験してみてフェンシングに興味をもった

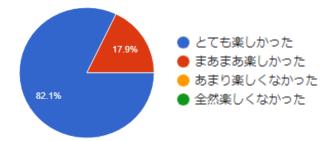
知らない男の子たちと団体戦で試合をしたことでお友達を応援できたこと。

興味をもった種目がありました

運動する事や体を動かす事に興味をもった。

他のスポーツについて興味をもったり、内容を知ったりすることが出来た。

7 参加者の満足度



8 保護者の満足度



9 保護者向け栄養講座の感想

普段から子供の食生活はとても意識していたつもりではありましたが、新しい気付きもたくさんあり、とても 貴重な時間となりました。講座のタイミングでは、全くアスリートの可能性を感じていなかったので、スクー ルの後半に講座があればもっと当事者意識をもって話を聞けたと思います。

とてもためになった。牛乳が必要な理由を理解し、家でも飲むようになりました。

丁寧に説明されており、質疑応答にも真摯に対応されていた。

ずっと気になっていたので講座が聞けて良かった

成長期の子どもへの食事量について、とても参考になりました。大きくなる時期には、積極的に食べさせてあげたいと思います。

アスリートの親でなくとも良い勉強になりました。

今後、運動等をするにあたり、勉強になりました

これから成長していく子供に必要な栄養素や、いかに食が大切かということを学ぶことができた

料理は苦手だが、子供の発育のために栄養バランスを考えた食事を少しずつ増やしていきたいと思った

とても参考になりました。直ぐに取り入れ、実践しています。

とても勉強になりました。子供が偏食傾向があるのでその中でどうすればより良い食育ができるかを改めて考えるきっかけになりました。

なかなか栄養の事を学ぶ機会がなかったので、興味をもって聞くことができました。これから成長する過程での参考にもなりました。

成長や身体を作るのに必要な事を知って良かったと思う。